
仕立て屋と坊ちゃん
大島かもめ
Kamome Oshima
tailor and scion
KAIOHSHA COMICS


仕立て屋と坊ちゃん
大島かもめ
Kamome Oshima
tailor and scion

tailor and scion

Kamome Oshima

仕立て屋と坊ちゃん
003
描きおろし ある日のふたり。
155




仕立て屋と坊ちゃん
tailor and scion


初めてそこへ
行った時
俺は七歳だった
看板のみ掲げて
ひっそりと建つ
オーダーメイド専門店
連れられて
行ったのは
父の気まぐれだ
これ食べる？

高宮秀一郎（たかみやしゅういちろう）
七歳にして

初めての恋

お前…
もっとこう
オレンジ味とか
ないのかミ？

店主

ん？
黒飴
ダメです？

そして今年
俺は二十歳になる

片山（かたやま）さん

もう大人だ
今こそ告げよう
ずっと胸に
秘めてきた

その時 俺は既に
描いていた

とっても
おいしいです！

そう？

彼と共に
生きる
未来
予想図を！

リーフ
ブーケ


この想い…!!!
初めて会った時から
ずっと…好きです!!
……え
知ってるよ?
あ…そうですか…
いやーまいったな
よいしょ
生地見本いくつか持ってきたけど一着目の背広だしスタンダードなお方、
ふんふん
…え!?
ガチャー

知って…
え!?
なんで…
なんでって…
そりゃ
分かるでしょ
だって君…
用も無いのに
お父さんに必ず
付いて来るし
片山さん
こんにちは♡
また
来たの…
来る度に
僕にプレゼント(?)
くれるし
高校時代
真っ赤なバラ
小学生時代
セミの
ぬけがら
1ダース
中学時代
調理実習で
作ったチャーハン
(感想:クッキーとかじゃないんだ…)
それに
顔
僕を見る顔で
察しちゃうよ
君分かりやすいから


今の今まで
告白して
こなかったのが
むしろ驚き
それはあの…
やっぱり
俺じゃ子供すぎて
片山さんに
釣り合わないって
思ってたから
でも俺ももう
二十歳ですし
こうして成人記念に
背広を作るような
歳になったわけで…
決めてたんです俺
片山さんに服を
作ってもらえるような
大人になったら
気持ち伝えようって
えっと
それで…
さっきの
告白の
返事は…



へこたれるな
高宮秀一郎…
(もうすぐ二十歳(ハタチ))

そもそもの最初から
一度で想いが通じる
なんて思ってなかった
だろう…?






これ今人気のチョコレートらしくてよかったら…
…高宮くん
もういいからこういうの


僕は神様じゃないんだからねぇ
毎日毎日お供えされたって願い事を叶えてあげられないし
君の相手ばかりしていられる程暇でもないんだよ
でもお茶は出してくれる…
……
!?
どうしたの？
あ…すみません


バイト疲れみたいで…
アルバイトって…
そんな疲労困憊する程稼いで何に使…
ハッ
華の大学生
お金の使い道なんて他にいくらでもあるだろうに
か！…
お父さんに聞いたけど
…君って結構優秀なんでしょ？
忙しいならこんなとこ通ってないで学業に専念しなさい
ふふ…
うわぁ


高い高いとは
聞いていたけど
やっぱり高いですね
LEMON
何？
時計とか
ふ…
ああ…
まぁ庶民には
なかなか
手を出せないよね
片山さん
もうすぐ誕生日
ですよね
……
しまった
あでも
そのカフス
いいね
まだチカが出る
値段だし…
これ…
欲しい
ですか？
さーて
仕事…
別に欲しくな…
欲しいんですね
わかりました！
初めてだ
片山さんが本当に
欲しい物を
贈れるのは

自分でも
おかしいと思う

こんなに
贈り物に
こだわる事が

だけど

あの時

俺に飴を
くれたのが

本当に
嬉しかったから

大人達の中で
緊張してる
俺の事を想って
くれた

その気持ちが
伝わってきたから

だから

あの時の俺みたいに
片山さんに
喜んでほしい

あの時片山さんの
気持ちが俺に
伝わったように

はい
よろこんで～

俺の想いが
少しでも
伝わればいい

生中
2つ～

バイト増やし
ちゃったから
さすがに
会いにいけない…

会いたいよぉ…

でもそうしないと
誕生日に
間に合わないし



もう
一週間
来てないな
あの子…

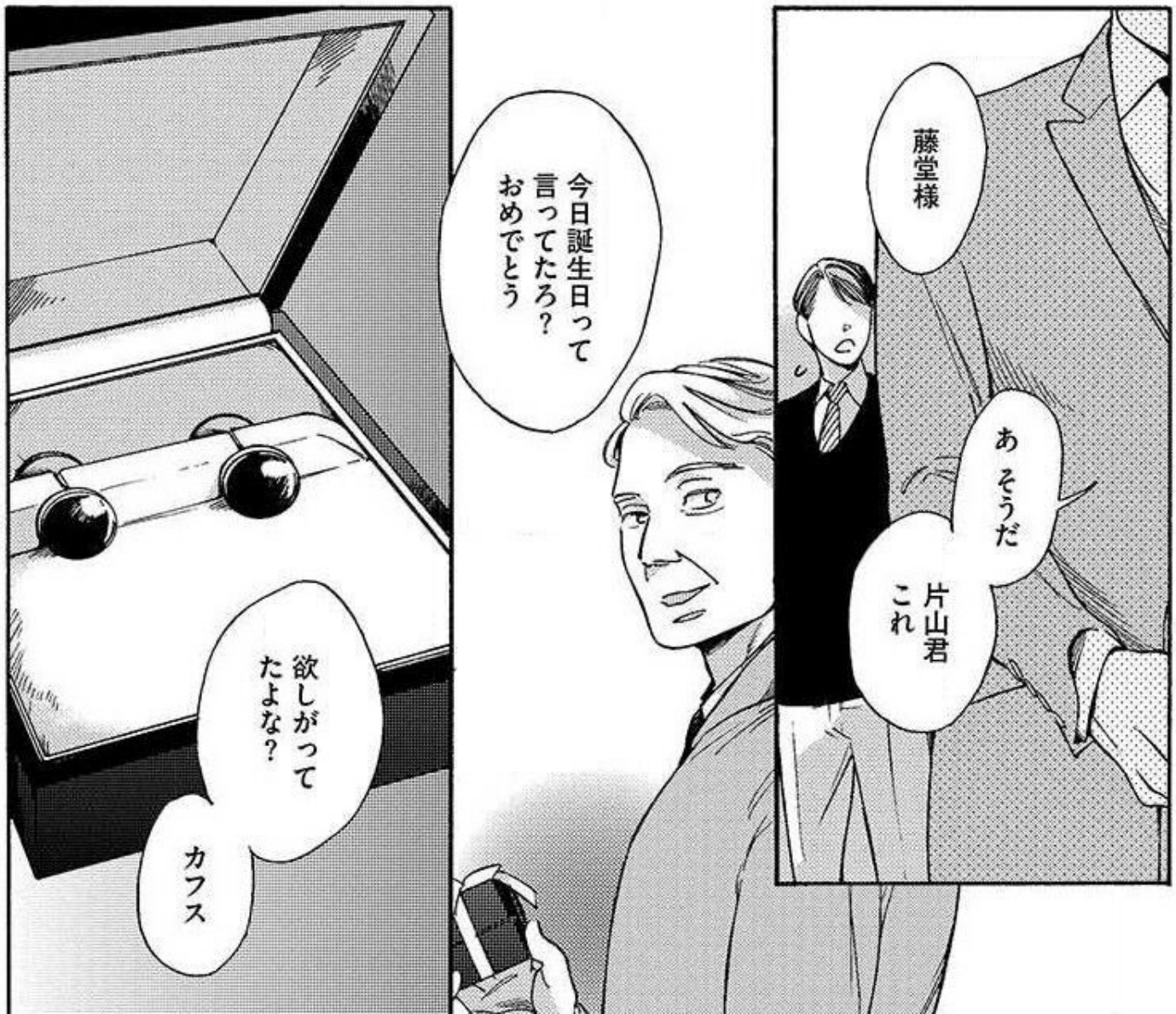
はかどる
はかどる
仕事が
はかどる

……


今人気の
チョコレートらしくって…
モグ…
あ
おいしい
ど…


GESSORI
どうしたの
高宮くん!?
やっぱすぎ…
あ…
お久しぶりです
あの…
片山さん
今日お誕生日
ですよね?
これ
片山君
藤堂(とうどう)様
次に来るのは
三週間後で
よかったかな?
ええ
その際に
仮縫いを
致しますので
ん?
片山君
バイトの子でも
雇ったの?


…いえ
こちら様にも
当店をご利用
頂いてまして
へえぇ…
この歳で
オーダースーツかぁ
ちょおォ〜っと
「分不相応」
じゃない？
身体は
立派だけどねぇ


藤堂様
あ そうだ
片山君
これ
今日誕生日って
言ってたろ？
おめでとう
欲しがって
たよな？
カフス


そんな
お気持ちは嬉しいですが頂けませんよ
まぁいいからとっときなさい
じゃあ
あ…


弱ったなぁ…
あの
お…俺も帰ります


えっ
何しに来たの!?
あ
ちょっと待ちなさい鞄忘れて…


……
藤堂様から頂いたのはココに…。
……
同じ箱…


俺も…
同じもの買ってきちゃったんです…


プレゼントがかぶった事が悲しいんじゃない
二つあってもしょうがないですよね
これは持って帰ります
「分不相応」が辛いんだ
…あの人恋人ですか？
おそらく片山さんの作ったスーツをさらりと着こなして
なんでもない物のようにカフスを渡した彼は
古い映画の俳優のようだった


無理して
やつれた顔で
モタモタと
鞄を探って
プレゼントを
出そうとする俺
そんな訳
ないでしょ
お客様だよ
ただの
…でも凄く
お似合いでした
なんて不格好
だったろう
スーツができたって
きっと似合わない
あの人が言う通り
不相応だ
スーツも
カフスも
片山さんとも
…藤堂様に
頂いた方は
後でお返しするよ
もらう義理は
ないからね
それ


もらってもいい？
そ…
れって…
俺からもらう
「義理」はあるって
ことですか？
さあ？
目
クマが
凄いけど
アルバイト？
お金…
ほしくて
バイト増やし
たんです
カフス買い
たかったから


そう
有難う
想像の中の
片山さんの
指先は
いつも冷んやりして
乾いている
でも実際
その手は
温かく
少し湿っていた


はあ
片山さん
好きです
今の俺の手と
同じように
…だから


知ってるよ…って
うーん…
サイズはばっちり
なんだけどね
サイズは
七五三感がいなめない…
えぇ〜
完成
思ったより
イケてますよぅ







俺の戦いは
始まったばかり!!!

END



仕立て屋と坊ちゃん

tailor and scion

ひと月毎に
恋人の変わる
友人は

かつて俺に
こう言った

セックスは
俺にとっちゃ
スポーツみたいな
もんだよ

好きじゃなくても
気持ちよけりゃ
できる

俺は
こう答えた

そういうの
良くないと思う

お互いの
好きの気持ちが
なくっちゃ




片山さん
俺達は
さっきまで
スポーツを
してたんでしょうか?
スポーツ
ってのは
もっとこう…
ナイス
ファイト
輝く汗
涙…そして
友情
ん…
起きたの
あっ
か…片山さん
なっ
ナイス
ファイト


ふーん
最近の若い子はそういう風に言うの
あんまりムードあるとは思えないけど
いやっ違っ…
もう遅いから帰った方がいいよ
……
片山さんは時々こうやって店の仮縫い部屋で俺と寝てくれるようになった
でも
寝ただけ付き合ってない
気持ちよけりゃセックスできるよ
いやっ
あいつの言う事なんて信じないぞ
少しくらいは望みもったって…
片山さんは


トドメの
ストレート!
どうして俺と寝てくれるんですか?
…んー!…
ポム
ポム
気持ちいいから




紳士服
テーラーナカムラ
パーティー？
ハイ
父の仕事の関係で


仕事の関係…
お父さんの仕事手伝ってるの？
いいえ
単に父が俺をそういう所に連れて行きたがるんです
俺はあんまりそんな集まり好きじゃないんですけど
でも
今度のはちょっと楽しみにしてて
どうして？
初めてなんです
片山さんの作ってくれた服着て行くの


…それは
どうも
有難う
どういう趣旨の
集まりなの？
えっと
ですね…
金丸商事という所の
創立五十周年記念の
パーティーらしくて…
片山さん？
ああ…
いや
まぁ
楽しんでおいで
？
ハイ…
創立五十周


やっぱり
苦手だなぁ
こういう所
あれっ
君…
あ
確か
片山さんの
所で…


藤堂
藤堂！
やぁー
奇遇だねぇ
あ
それ
片山君の所で
仕立てたろ
え


分かりますか？
分かるよぉー
彼の仕立ては
凄く綺麗だから
因みに
僕も今日
彼の仕立て
藤堂さん


これは金丸さん
本日はお招き
いただきまして…
まぁまぁ
形式ばった
挨拶は無しで
そちらは？
あっ
は…初めまして
高宮の息子の
秀一郎と申します


ああ
高宮さんの…
こんなに
立派な息子さんが
いらしたんだ
彼とは
ほら
ご存じでしょ
テーラー片山
あそこで
知り合いましてね
今日も
二人揃って
彼の仕立てで！
片山さんの
お店って
有名なんだ…
あぁ
テーラー片山
知ってますよ
でも
あそこの
店主


男と寝てるよ
…は？
いやぁ…
あんまり大きな声では言えないですけどね


ほら店の奥に仮縫い部屋ってあるでしょあそこで
なんでも金払いのいい客を常連にしたくてやってるんだとか
男が男に色仕掛けですか


いやいや藤堂さん火の無い所に煙は立たないって言いますよ？
片山君は妙な色気があるしねぇ


貴方達も気を付けた方が良いんじゃないですか？
誘惑されないようにね
では


肝に銘じますよ
信じるなよ
え

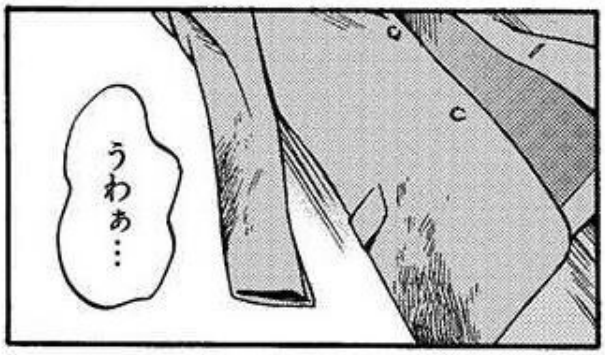

全く
下品な男だ
しょうもない噂をペラペラ
そんな事ある訳ないだろうに


はい
そうですね
わっ
ドーン


お
お客様
バシャ
あらら…
申し訳
ございません
これまた
ひどく
汚れちゃったなぁ
高宮君
…こんにちは
ギィ…
おや



それが今日は
なんだか違って
聞こえる






勿論
ご注文有難うございます
前の時の型紙あるけど一応採寸しようか
……
…何緊張してるの？
ビキィ…
しっしてないです
だ…
だってこの体勢なんだか
今


変な事
考えてるでしょ
いいよ
しようか


ほ…
……っ
たた…
ゴン
他の客にも
こんな風に
したんですか!?

はぁ…

後悔しかない

居酒屋

生中2つ入りまーす

あんな事言うべきじゃなかった

ボゲー…

お待たせ致しましたー 軟骨唐揚げと軟骨唐揚げと軟骨唐揚げです

頼んでないです

俺に怒る権利なんてない

ハッ 申し訳ございません

付き合ってるわけでもないのに

恋人なわけでも
ないのに



とにかく
片山さんには
謝ろう

入っちゃいけない
ところまで
ズカズカ
踏み込んでくる

そんな奴と
思われたくない




いらっしゃいませ


ごう


タンコブできました
片山さん
あ…頭のお加減はいかがで…


ごめんなさいっ
あんな風に怒鳴って突きとばして
付き合ってもないのに怒る権利なんて俺にはなかったです
片山さんは仕事のためにあんな事してるんですよね!?
このお店を守っていくために


凄いと思います！
職業人として尊敬しなければいけないって
俺…
でも
……
やっぱり辛いです
何の話？
は…


いやだから
得意客を
離さないように
お客さんと
寝てるっていう
はぁ
あつ
かくかく
しかじか…
はぁ
金丸さんか
全くあの人は…
はぁ…
ご存じ
なんですか？
昔ね
迫られた
この部屋で
えっ
拒否したけど
昔ウチの
お客様でね
プライドの高い
人だったから
逆恨みで
そんな噂
ばら撒いて
いるんでしょ


なら抗議して
やめさせないと
いいよ放っときなさい
だって放っといたらこのお店や片山さんが…
誰も信じないよ
そんな突拍子もない話
それにその話を聞いて来なくなる人がいるんなら
その人にとって僕と僕の服はその程度って事だ
ああでも
信じた人がいたね
だって…


だって
分からな
かったんです
片山さんが
どうして
寝てくれるのか
大人で
自信一杯の
キラキラした
人たち
このお店にも
そんな人たちが
一杯来るん
でしょう?
なのに何で俺?って
理由が分からなくて
そしたらあの噂聞いて
ああそれで
なのかなって
創立五十周年記念
あの
パーティー
沢山人が
いました

言ったでしょ
理由



そっか


そうだった
気持ちいい
スポーツだった
ん
はっ
は
上手く
なってるね
スポーツは
う…
つぷ!


片山さん
楽しくなくちゃ
普通のじゃつまらないですよね？
もっと楽しくなれるような事しましょう
目隠し？縛ります？
どんなのが好きですか？


ふっ
フフフ…
高宮君
君そういう
プレイ
好きなの？
意外と
変た…


どうし…



友人は
かつて俺に
こう言った

セックスは
好きじゃ
なくてもできる
…けどな

そういう
ものかぁ…

ウン
そういう
もんだ

…片山さん
そうだったん
ですか

ふーん…

「抱きしめる」のは
好きじゃなきゃ
できないんだ

これホント


本当は俺の事
好きだったんですね…!!!
それなのに俺ときたら
片山さんを信じられずあんな態度を!
愛情を伝える方法は言葉だけではないと…
それを俺に教えてくれ
いいえ
…友人(あいつ)…
嘘つきっ…!!!
何か…?
END


仕立て屋と坊ちゃん
tailor and scion


看板のみ掲げて
ひっそりと建つ
オーダーメイド
専門店
紳士服
店主の片山さんに
長年片思いを
していた俺は
ようやく気持ちを
伝え 何度か
そういう事もする
仲になったけれど
相変わらず
片山さんの態度は
つれなく
未だに俺の
一方通行状態が
続いている…
あれっ


片山さん？
こんにちは！
高宮君…
吃驚しました
外で偶然
会うなんて
あ
てことは
お店の方は…
今日は
臨時休業
で
色々と
買い出しに
そうだったん
ですか…


何
また今日も
来るつもり
だったの？
はい
今日もまた
行くつもり
でした
休みの告知も
前から張り紙
出してたけど
気付きません
でした…
うう…
お店の上が
ご自宅デスヨネ？
あっ
じゃあ
折角なので
初めての
お宅訪問とか…
さよなら
わあああ
あああ
待って待って
待って下さい
片山さんんん


バッ
バームクーヘン
バームクーヘン
持ってきました
片山さんと
食べようと思って
人気店の買って
来たんです
2時間36分
並んで！
ええ
俺の気持ちが
どうこうじゃ
ないんです
ただ
このバームクーヘンが
片山さんに食され
ないまま消える
運命を思うと
わかったよ
ハイ
？


バームクーヘンだけ
貰って帰るから
……っ
…っっ
わかった
わかったから
お茶したら
帰るんだよ？
全く…
ハイッ！


フンフン♪
フンフフ
フフフ〜ン
おっとっ
ちゃ！
グリーンの調べが…
高宮？
よーっす
あれ？
何やってんだ皆で
飯食いに〜
そだ今いいか？
あ大学の友達なんです
ちょっとすいません
何？
いやさぁ


課題のレポートの参考資料教えてくんね？
え？お前また授業サボったの？
いや サボってたっていうか ゲームの今やってるボス 倒せなくって 夜通しやってたら…
後でメール送るから
今回だけだぞ
あんがちょ！
高宮～あたしにもプリーズついでに！
お前もか！
同年代にはこんな感じなんだこの子
当たり前かもしれないけど
いつも敬語だから


不思議というか
違和感
いや
たぶん


あっちが本当の
あの子かな
あ


すみません
こっちの都合で
引き留めちゃって
いえ
大丈夫
にこ
ポッ♡
ポッ♡
?
ちょっと
高宮ぁ～～～
ズズズ
誰？誰？
ヤバいんだけど
かっちょい～


……
教えない
ハ!?
なぜよ
なんでよ
あんた
あの人の
なんなのさっ
やだ
離せ
おーい
もう行くぞー
もー
しつこいよ
お前
おとなげあああ
なにおう!?
このドケチが!
喰らえ女子力
ガチ
エッ
それただの
スリーパー
ホールド

やめろって

サエコ！

紳士服
テーラー片山の
二階

そこに
片山さんの
自宅がある

わ

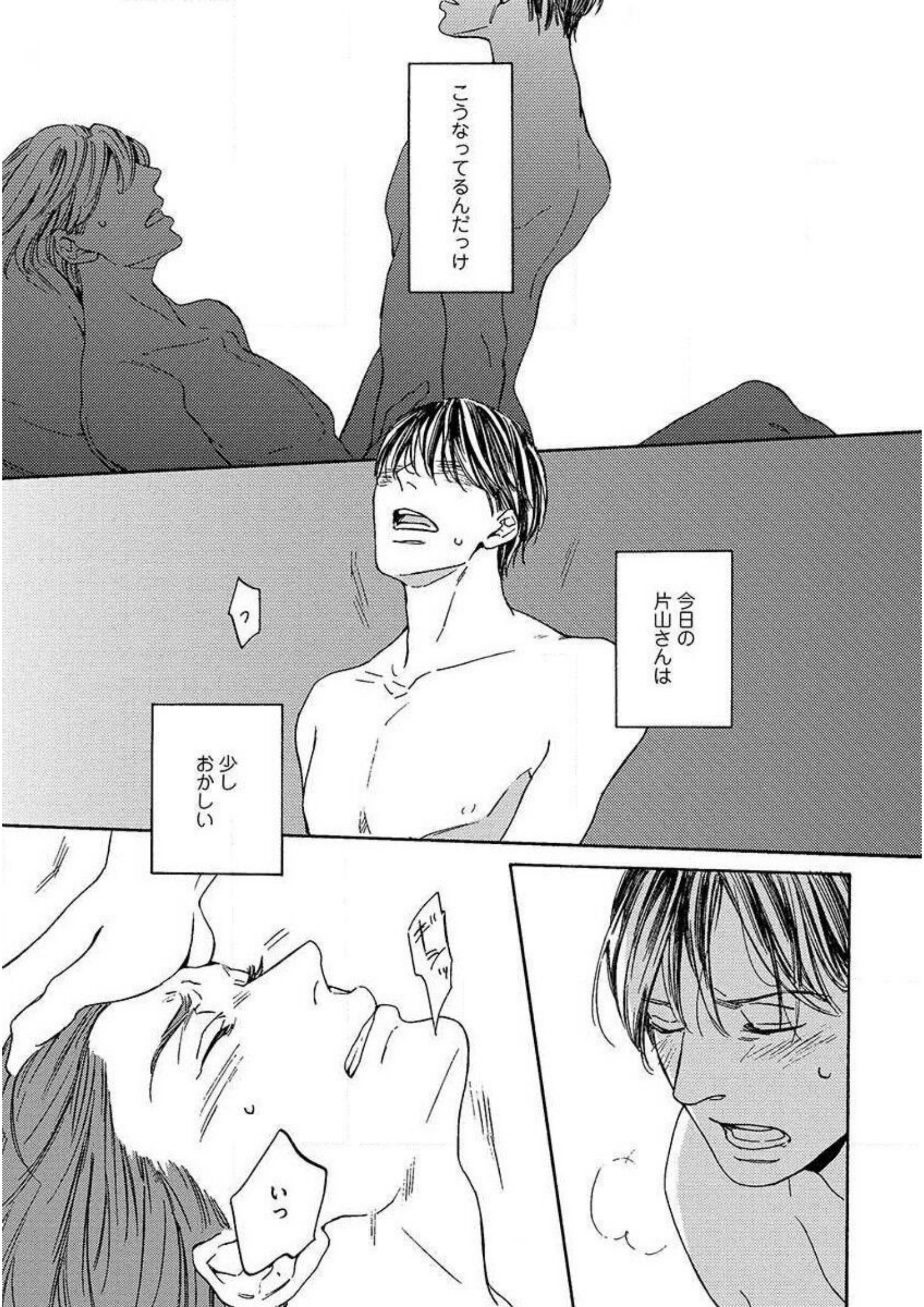

凄く素敵な
部屋ですね
……
片山さんに
ぴったりの…
あれっ？
もしかして
不機嫌？
？
なんで？
あ
この万年筆


片山さん
仕事場でも
使ってますね
……
だったら
何？
何っ…て
事は…
ないんです
けど
っ
っ
でも
同じ片山さんが
使ってるペンでも
この部屋に
あると…
テーラー片山の
店主な
片山さんじゃなくって
仕事を離れた
普段の…
ほんとの片山さんが
使ってると思うと


グイッ
少し近づけた
みたいで
嬉し…
ムグッ
へぇ
本当の僕
相手には
求めるんだ
自分は
見せずに


ずるくない？


何の事だ？
どうして
んっ


こうなってるんだっけ
今日の
片山さんは
？
少し
おかしい
ギラッ
いっ

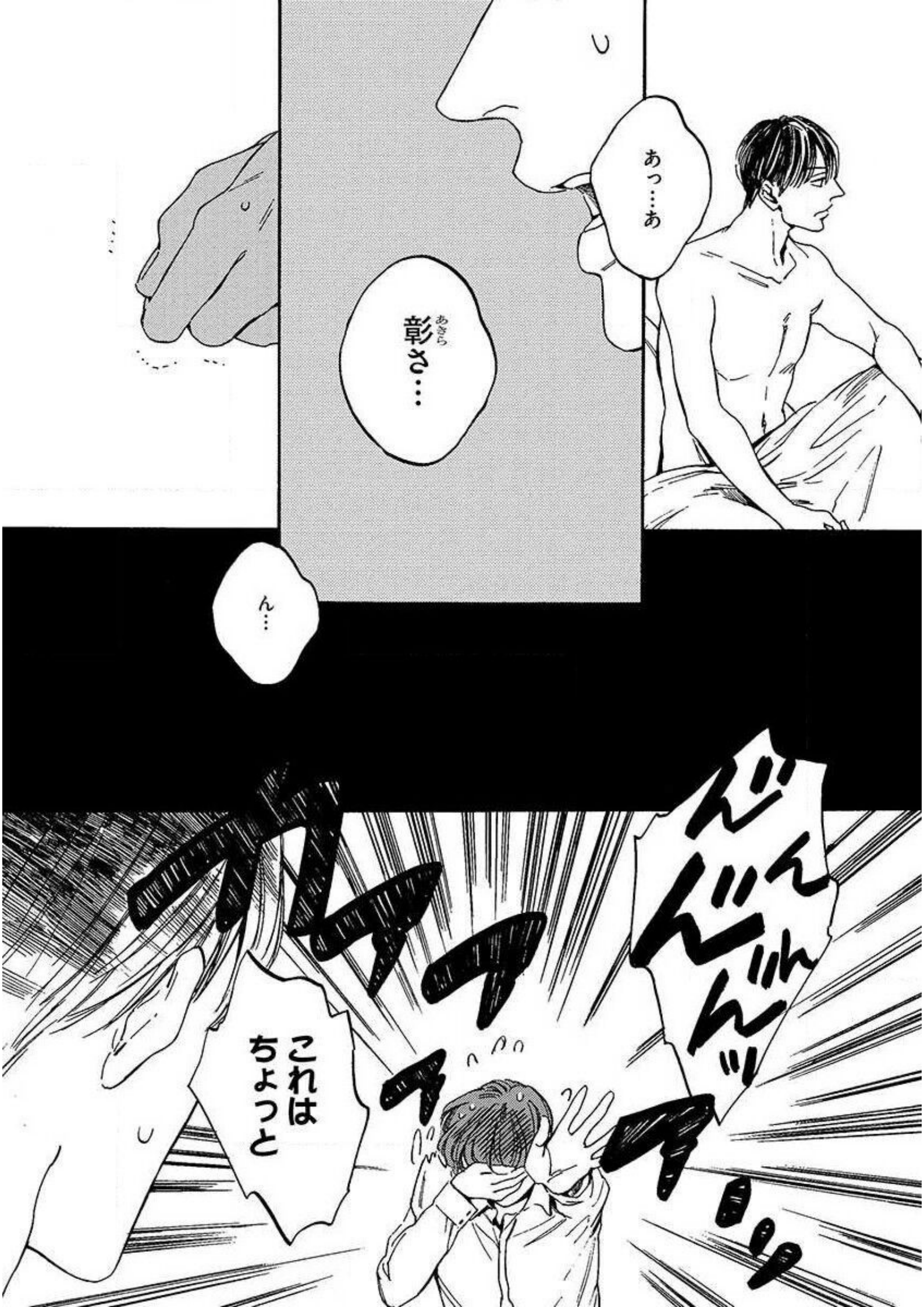

グッ
いつもは
こんな荒い
やり方しないのに
ちょっ…と
勝手に
体勢変え…
片山…さん


片山さん…


片山さん


バームクーヘン
食べませんか
いや
今はいいよ
シュン
そうですか
君さぁ
はい？
最中も人の事
名字で呼ぶんだね


えっ！
はっ
そ、それは
下の名前で
呼んでも
いいとか…
そういう…
……
ホントに？
……あ


あっ…あ
彰(あきら)さ…
ん…
ぶんぶんぶん
これはちょっと


やっ
名前を呼ぶのが
嫌とかじゃなく
むしろ死ぬほど
嬉しいん
ですけどもっ
片山さんに
釣り合うような
人間になったと
自分が納得
できた時に
したいというか…！
そう


だったら
それでいいんじゃない？
…紅茶でも淹れるよ
バームクーヘン
やっぱり食べよう
ハイッ
END


それは俺が
十三歳の
頃の話だ
東京カントリークラ
お前が来て
くれたのか
秀一郎(しゅういちろう)
わざわざ
すまんな
ううん
父が家に忘れた
ゴルフクラブを
わざわざゴルフ場まで
届けに来たのは
片山(かたやま)さんと
一緒だと
聞いたからだ
仕立て屋と坊ちゃん
tailor and scion
ゴルフウェアも
素敵だ…
白いパンツが
眩しいです
片山さん…
我ながら
健気だと思う


じゃあ
気を付けてな
会えるのは
ほんの一瞬
だというのに
行っちゃった…
……
今日はお話
できなかったな
ヒュ
ザァァァ
雨だ
いきなり
豪雨だなぁ
!!


ダダダダ…
ひゃ～
何なんだ
突然！
こりゃ
ひどい
全員
びしょびしょだな
はは…
皆
戻ってきたんだ








おい
片山君
靴紐
ほどけてるよ
あぁ
本当だ


なんだろ
…お父さん
なんだろう
この感じ
おトイレ…
どこ？
お前まだいたのか
ん？
向こうの角
曲がって
左にあるぞ
MEN
我慢は良くないぞ秀一郎ぅ…
出てきたのは
はぁ
はぁ…


排泄物じゃなかった
はあ…
羞恥と罪悪感と
白い…
そして確かに恍惚を伴って
クラブハウスの片隅で
俺は一つ大人になったのだった


片山さん…
Oo


あの頃は
思いもよらなかった
……
片山さん…
ねぇ
はぁ…


昔
ビキニ型
だったのに
いつから
ボクサータイプに
変えたんでスか？
っな…
んで
知って…
自分の腕の中に
この人がいる
その喜びを
知るなんて
END


ある日の夕方
帰宅すると
郵便受けに
葉書が入っていた
謹啓 時下ますますご清栄のことと
お喜び申しあげます
平素は格別のお引立に預かり
厚く御礼申しあげます
さて 当店におきましては 開店以来
無事に四十年が経過いたしました
こうして開店四十周年を迎えられましたのは
ひとえにお得意様及び皆々様のお蔭と深く感謝
この機会に 心を新たにして
今まで以上に一生懸命努力する覚悟でございますので
倍旧のご支援 ご協力くださいますよう
敬具
紳士服店
テーラー片山(かたやま)
創業四十周年を
知らせるDMだ
仕立て屋と坊ちゃん
tailor and scion
親の懇意にしている店で
子供のころから知っている
店主の片山さん
俺
高宮秀一郎(たかみやしゅういちろう)の
想い人で
何度か身体を
許してくれた事もある
高宮



仕立て屋と坊ちゃん

tailor and scion


ドサッ
俺宛には葉書きてないけど…
四十周年か
お祝いに
何か
贈りたいなぁ
「なんて事だ
葉書を送っていないのに
贈り物をくれるなんて」
「本当に嬉しいよ
好きだ
愛してる」
いや…
無いって
わかってるけど
夢見るくらい
いいよね
あくまで
お祝いの気持ちで
あって
何贈ろう…
そうだバイトも
増やして…


ぜんぜん
お久しぶりです…


前もそんな風に
衰弱した君を
見た覚えが
デジャブ？
ヘラ
ヘラ
そうですか？


それって


……


アレのせい？
片山さんに
あげたい物考えてたら
一つ二つじゃ
収まらなくって
グラグラ
いや
難しいですね！
一つに絞って
贈った方が
スマートだって
分かってるんですけど
いやまぁ
ちょっと
お金が足りなくて
バイト量増やしたもので
一つでも
気に入ってもらえると
嬉しいんですけど
とにかく
四十周年
おめでとう
ございます
今日はこれで
お暇しますね


フラフラ
たまには
アッサリ帰る
「引き」の作戦
……
高宮君
は――い！
きたっ
どうして
こんな事するの？
……
どうしてって
片山さんのお店の
お祝いを
あ
俺の事は
気にしないで
下さい
そりゃ多少
やつれました
けど


俺が好きでやってる事なので片山さんは気にしないで下さい！
この前さ
貢ぐような事はやめるように言ったよね
まだ分からない？
え…っ
と…はいでも…
こっ
これは自分のためでもあるんですよ！
ほら家の方針で小遣いなしってのがありまして
自分のお金は自分で稼ぐっていうアレなんですけど


最近分かってきたんですよね
働く事の喜びが
苦労の末手に入れたもので自分の好きな事が出来るって
素晴らしいです！
同時にお金の大切さも分かってきたっていうか…
ふっ
？
ああごめん
やっぱり君はお坊ちゃんだと思ってさ


生活に不安とか
感じたこと
ないんだろうね
稼いだお金を
こんな使い方
できるなんて
その安心感は
誰がくれてると
思ってる？
それも
分からずに
働くこと
語られてもね
まぁ
そういう環境だから
仕方ないと思うけど
こういう派手な
やり方出来る感覚
僕とは違うなぁって
思うよ
しがない
一般市民なもので


すみません
お邪魔しました
はい
あ
パタン

……




お疲れ様でーす
高宮
もう上がり？
うん
へえー久々この時間で帰るって
最近ずっとラストまでだったじゃん
そうだっけ
そうよぉー


働き過ぎって
皆心配
してたんだよー
ポン
フラッ
え
た…
高宮君!?
おいっ
お前
どんな力で
叩いたの
えっ
あたしのせい?
マジ!?
息してるか
おい…
倒れた?
紳士服
テーラー片山


秀一郎君がですか？
医者が言うには
過度の疲労と
寝不足が原因だと
まぁ命には
別状ないから
良かったんだけどね
家内が酷く
心配してね
それは大事な
息子さん
ですから
しばらく
自宅で
療養してるよ

何であんなに
無茶したんだかなぁ

じゃ
お薬も一緒に
置いておくからね

ちゃんと
飲むのよ

うん
有難う
母さん

ホントに
食べさせて
あげなくて
大丈夫？

大丈夫だって
ぃぃ

そう…
じゃあね



それを当然と
思ってたから
無茶な事ができた

その環境を作ったのは
俺の力じゃないのに

それなのに
一人前みたいな顔して
片山さんの前に立って




本当は

片山さんに喜んでもらう
その為だけに
色々贈ってきたつもり
だったけど
尽くしている
自分に対する好意を
求めてたんだと思う


愛情に
見返りを
求めるから
いけないんだよなぁ
何度も寝てくれただけで
満足するべき
だったのかな
でも


好きな人に
好きになってほしいと
思う事が駄目なら
もう人を
好きになんて
なりたくないよ


コンコン
…っはい
秀一郎
いい？

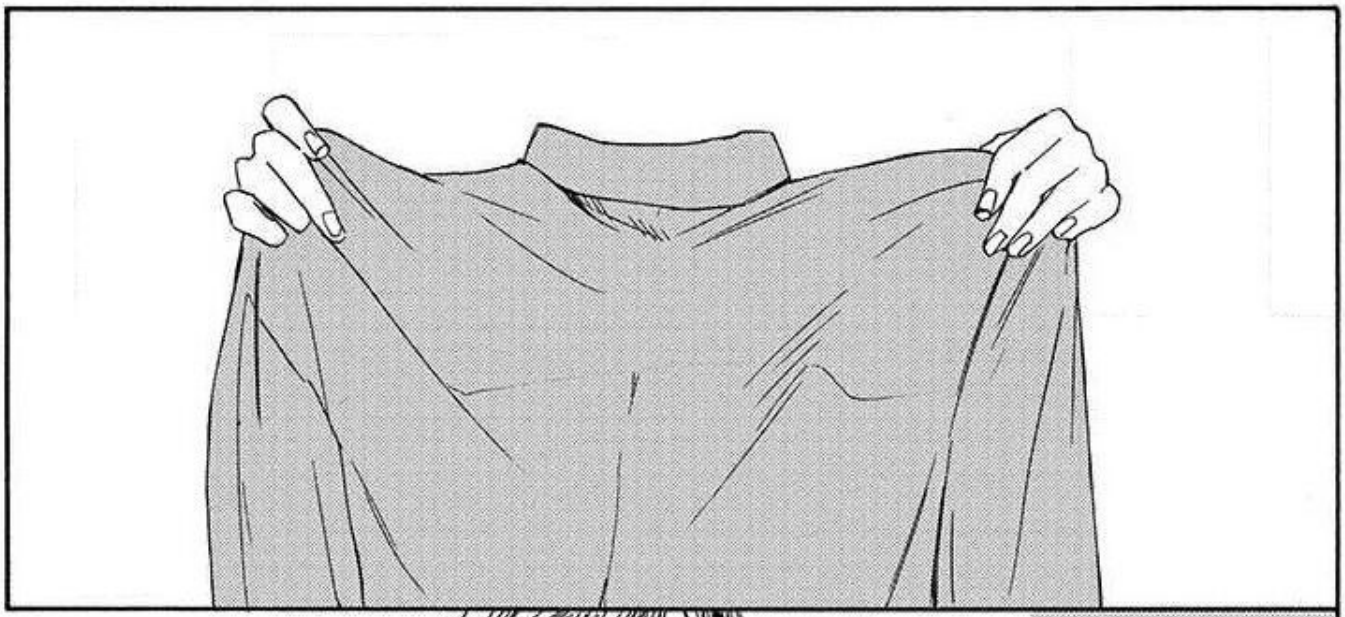

？
お見舞いに
わざわざ
いらして下さってね
あ
こちらです


片山さん
わざわざ
有難うございます
後でお茶でも
お持ちしますね
いえ
お構いなく
……


シ…ン
……
気まずい…
高宮君
具合はどうなの？
え
は
はいっ
もう大変
良好ですっ！
そうは
見えないけど…
そっ
そうですかね…
アハハ


あれ？
片山さん
なんだか
やつれてる？
いつもは
休日でも
ピシッとスキの無い
感じなのに…
目の下
クマ凄いし
髪も凄い
ハネてる…
ドキッ
なに？
いや
何も…
いえ


ちょっと
気になって
片山さん
凄く疲れてる
みたいだから
お忙しいのに
わざわざ来てもらって
申し訳ないです
これ
作ってたから
バサ




シャツ…
俺に作って
くれたんですか
この前の
四十周年祝いのお礼と
お見舞いをかねて
……


君が回復しちゃうと
お見舞いにならないから
急いで
作ったよ
もう少し
具合悪いままで
いてくれた方が
ゆっくり作れたんだけど
はは
すみません
俺が
プレゼントなんて
渡すから
気を遣わせて
プレゼントなんて
無くてもいいんだよ
気持ちがあれば
どうしてもって
言うんなら
年相応の無理の無い
範囲でさ
僕だって所詮
贈れるものっていったら
シャツ一枚なわけだし
でも片山さんだって
無理して今
ボロボロになってる
じゃないですか


気持ちは
嬉しいけど
心配です
感謝してます
でももう
これっきりに
して下さい
……
自分が
その立場に
立たないと
分からないなんて
想像力がないよ
じゃ
お大事に
……


片山さん
心配だったんですか？
片山さんもさっきの俺みたいに
俺の事…


だから
プレゼント
やめろって
言ってたんですか
……
片山さん


分かりにくい……
高宮君!?
しし
寝たきりで
足の筋力が
いきなり
ハッスル
するから
ほら
つかまって
スミマセン…
全く…


シャツ
有難うございます
……


言い過ぎたと
思ってる

その時


片山さんは
決して顔を
見せなかったけれど
抱きしめた身体が
ぎゅっと
強張ったので

片山さんの
本当に言いたかった
言葉は

これだったんだと
分かった



でもたった一言
言うために

こんなに回りくどく
ならなくっちゃいけない
片山さんに対して 今
新しい気持ちが生まれた



可愛い



見てください！
片山さん


片山さんの
作ってくれた
シャツ
最高に
フィットしてます
あぁ…
まるで
片山さんに
包み込まれて
いるかのような…
今まで
何着作ってきたと
思ってるの？
そのお客様達
皆包み込んできた
ことになるけど？


これまでの俺なら
そんなぁー
という感じだったけど
憎まれ口も
可愛いーっと
思えてしまう
愛おしいなぁ…
ニヤニヤ
何ニヤニヤ
してるの
気味の悪い…
なんでも
ないですよ～！
END


仕立て屋と坊ちゃん
tailor and scion


チュン チュン
チチ…
…ん
ふ
ふふ…
片山さん…
いけません こんな…所で…
…秀一郎
…？
片山…さん 俺の事 呼びすてなんて…
ばん

珍し…



お…
早うございます
お祖父(じい)ちゃ
ンゲッ
いつまで寝とるんじゃこのボケッ
ゴッ

大学が夏休みに入ると同時に
俺は田舎の祖父の家で居候する事になり

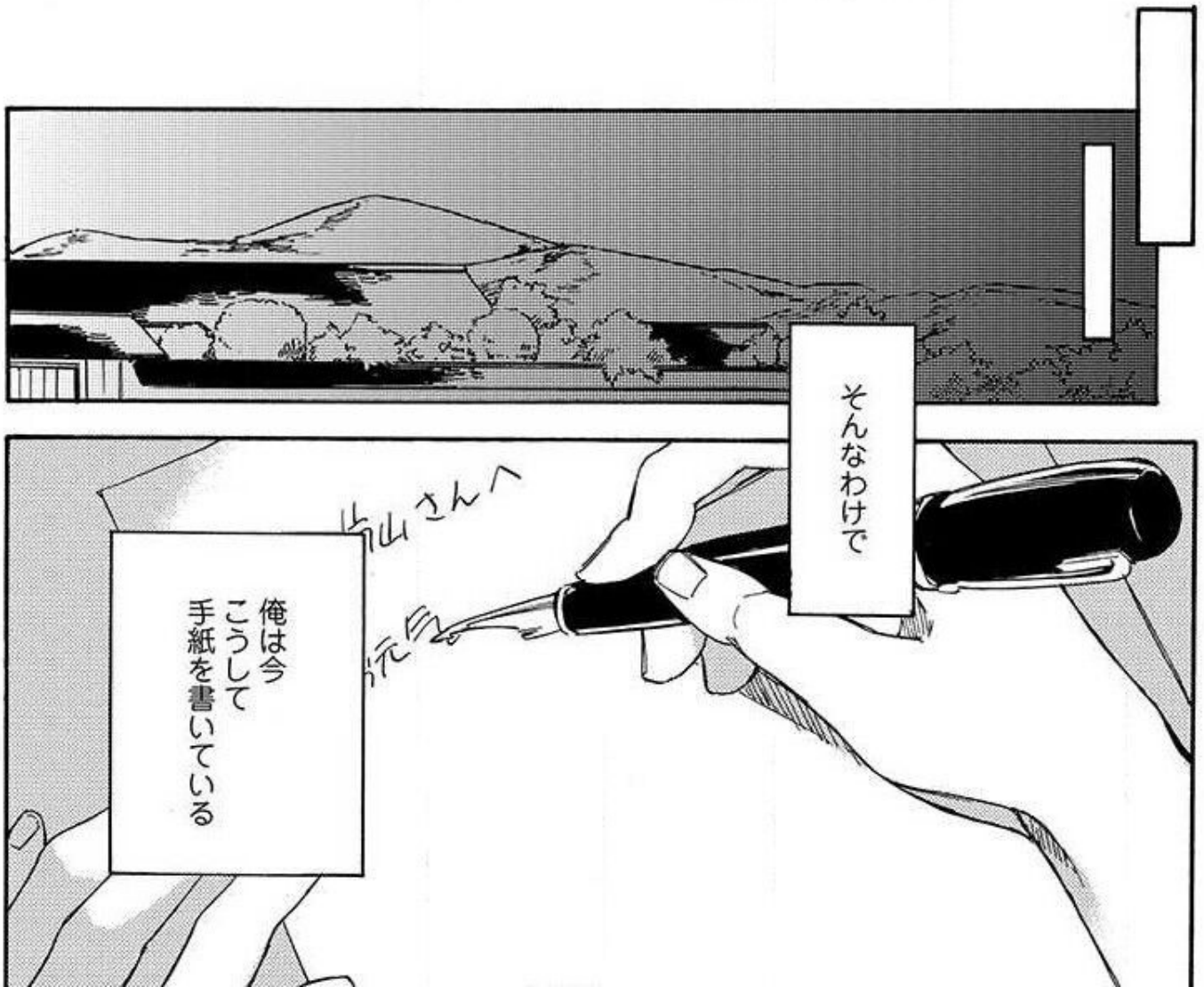
すいません…

既に二週間経った


紳士服
テーラー片山
夏休み前
修業？
はい
夏休み一杯
田舎の祖父の家で
学んでこいと
祖父はウチの会社の
創業者で
今はもう
父に経営をまかせて
田舎で隠居してるん
ですが
「これから経営に
携わる者として
お前は色々と
不安な所があるから
祖父の所で鍛えて
もらえ」と
父からのお達しで
確かに不安…


片山さんに
ほぼ2カ月も
会えないなんて…
うっ
うっ
いいんじゃない？
せいぜい
頑張ってきなさい
片山さん
どう思われてるのか
不安になるのは
こういう時だ
素直な人じゃないって
いうのは分かってる
子供の頃から
想い続けて
きた俺を
拒絶はしないし
時折身体を重ねて
くれもするけれど
あんまり
そっけないから…
じゃ
じゃあ


せめて連絡とりたいので
携帯の番号かメアドを…
できれば どっちも…
……
携帯持ってない
えっ
今時……
あっすいません…


そんなわけで
片山さんへ
俺は今こうして手紙を書いている


『俺は忙しい
毎日を
送っています』…と
なぜ掃除…
禅寺と家政夫業と
経営塾がまとめて
襲いかかってくる
ような毎日
秀一郎
今から二時間で
ワンオペ献立で経営しとる
パチうちチェーンの
キャンペーン案
考えてこい
えっ俺これから
セックスとご飯の
用意と屋敷の
掃除…
心の休まる
時のない俺は…
こっくり
経営
戦略
今まで禁じ手に
してたけど
片山さんのお店に
電話しちゃおう…
片山さんの
声がききたい…

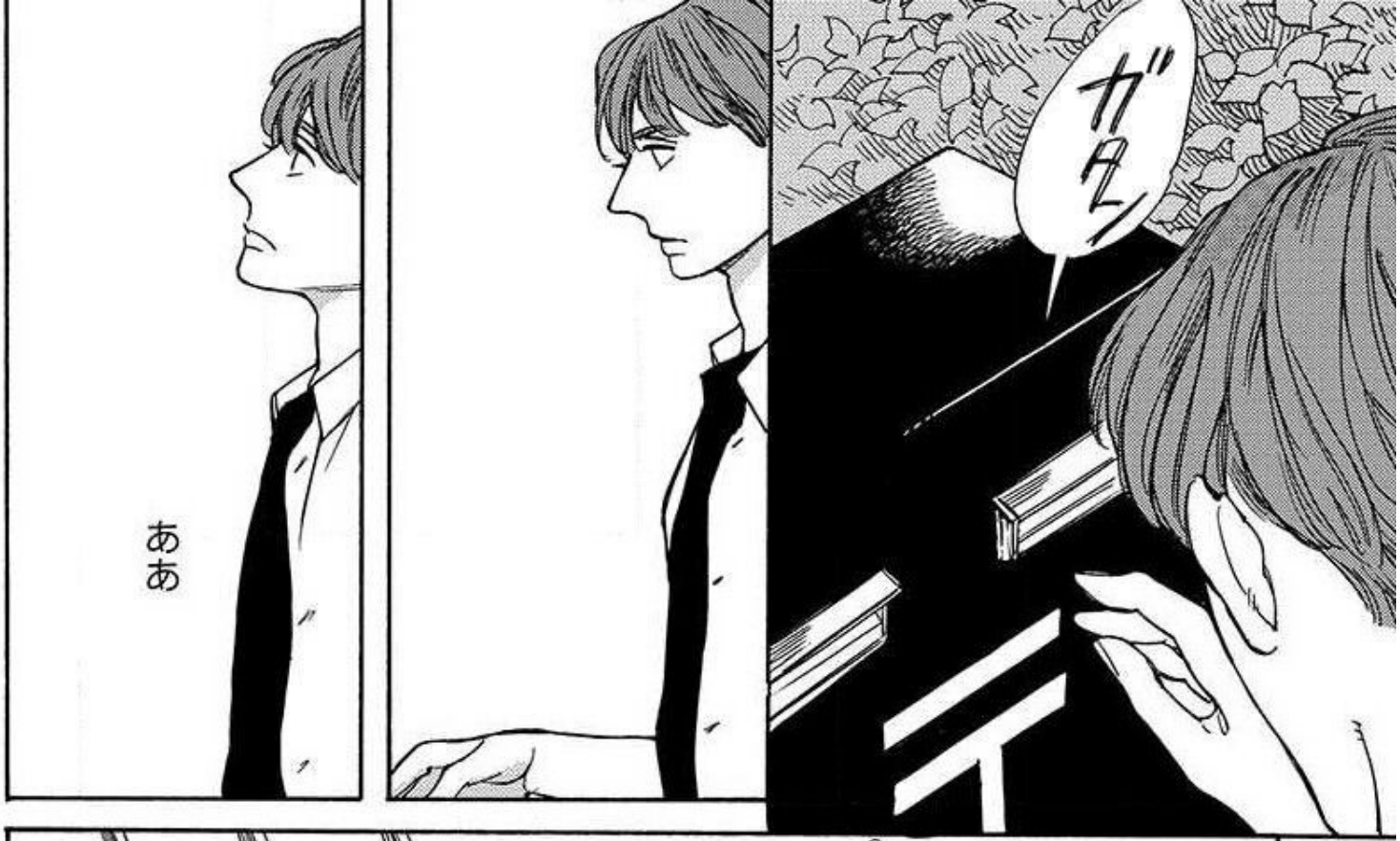

プルルル…
カチャ
はい
お電話有難う
ございます
テーラー片山で
あっ
片山さんっ
俺です
高宮(たかみや)です!!
お久しぶりです
あ お店に
かけちゃって
すいません
うわぁー
何日ぶり
だろっ!!
……
ああ…
久々の片山さんの
声を聴いていたら
じぃ
嬉しくって
思わず涙が
申し訳ございませんが
この電話は
現在ご利用に
なれません
ツー…
ツー…
ブブ


えっ ま…
片山さんっ
ツー…
ツー…
片山さん!!
こんな所に
おったのか
秀一郎オ…

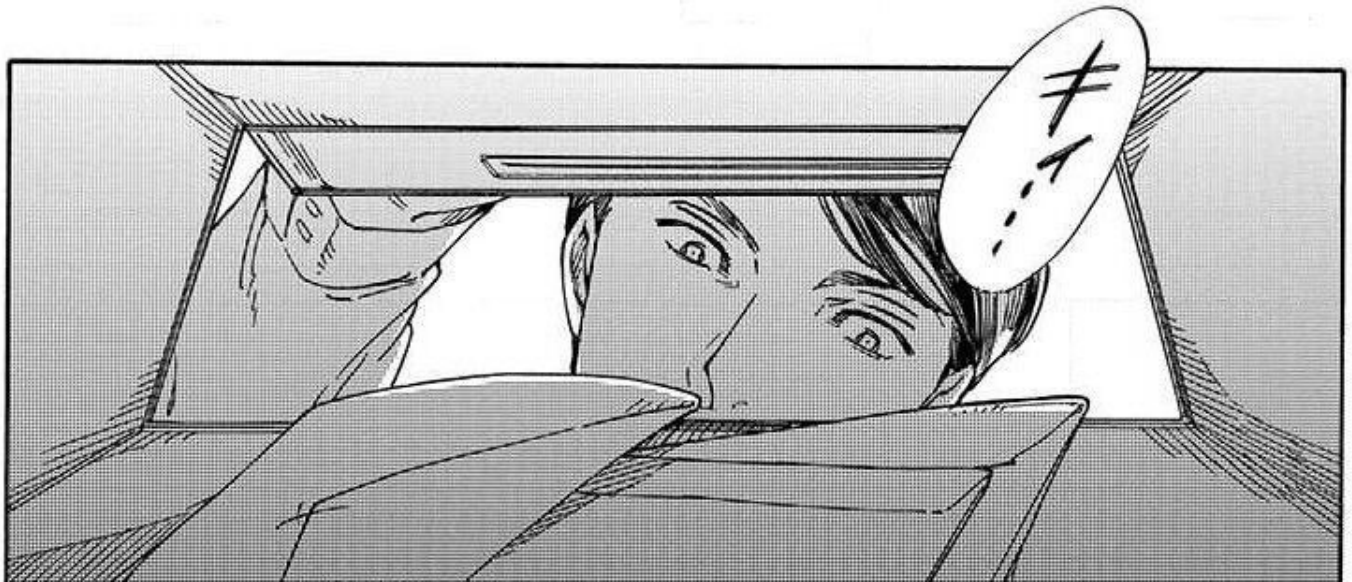

やっぱり


あー…


000-000
東京都000
テーラー片山
片山 敦
とぼとぼ
まずかったよなぁ…
はぁ…
仕事場に
電話かけたのは


ああ
ガタン


会いたいなぁ……


キィ…


諒介一郎
……
ヒィ!!


……
さて
仕事
するか
ストッ
タ″
タ″
タ″


片山さんから
返事がこない
李一郎
企画書は?!
できてます!
っしゃあ
次は朝飯作りながら
恋字店舗の
改善案じゃ!!
カ!!!
うわっ
ドタ
びしゃっ!
ガラン
ガラン
……
そりゃあ
俺に返事を
書くような人じゃないって
わかっているけど

今回だけは
欲しかったな

心が折れそうです

ぐりっ…

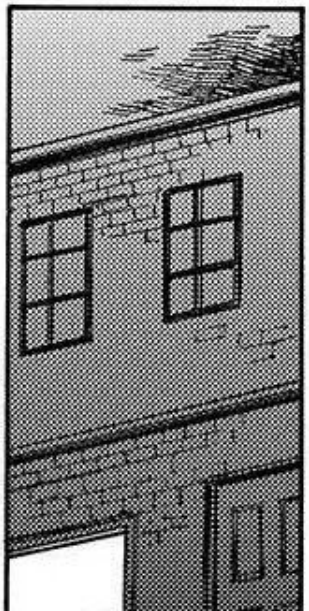
倒れたフリして
寝るんじゃあ
ないっ

片山さん…

ろいあいっ!!

がつがつ

経営は
一に体力
二に体力!!
食える時に
食えっ







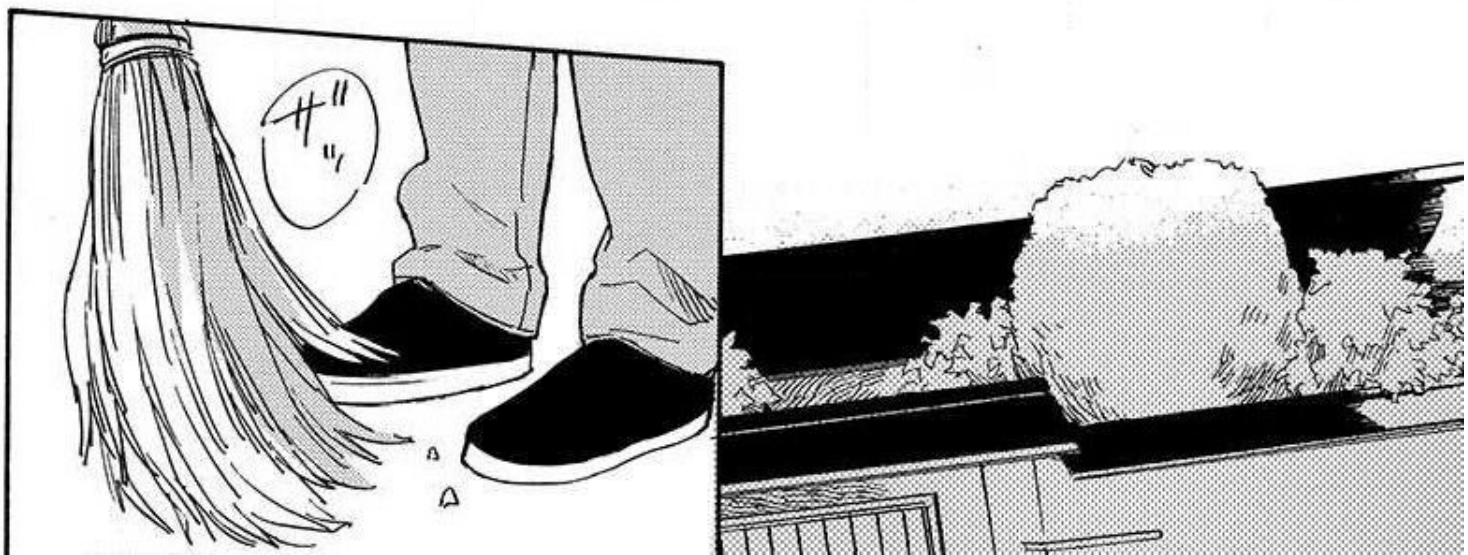
「困るんだよね
こっちは信頼して
やってんだからさ」




「誠に申し訳ございません」
「すぐに直してよ」
まさか一カ月で胴回り10㎝も増えるなんてね…
ふー…
ギシ…
……
退会届


私さんへ
元気ですか？
は毎日忙しいです。
更新はしていますが
父のスパンは遅
じく生きて東京に帰る
ができるのかい心配です
でも私さんに会えるまで
死ねないのでなんとか
頑張っています
ちゃんとお参りしないで
祖父です
…割と仲良いんじゃないの？






ここにきて
一カ月ちょっと
やっと半分
過ぎたって
感じかぁ…
先は
長いなぁ…
すみません
高宮さんのお宅は
こちらでしょうか？
あ はい
そうで…
はあ


久しぶり
突然来て
悪かったね
遅めに盆休みとって
旅行に来たんだけど
たまたまここが
近かったからついでに…
何してるの？
しい


手紙じゃ
息も絶え絶えだったけど
まだちゃんと生きてる
みたいだね
〜〜〜……っ
ナニっ
片山
さぁ〜ん
秀一郎
どなたかね
その人は


あっ お祖父ちゃん
こちら片山さんといって
父がいつも
服をお願いしてる
テーラーの方
なんですけど…
片山
……って
○○町の
「テーラー片山」
かい!?
懐かしいのー!!
そうかお前さん
先代の息子さんか!!
わしも昔は
あそこで作って
もらったもんじゃ
父が大変
お世話に
なりました
高宮様には
今でもご贔屓に
していただいて…
当然じゃあ
お前さんとこは
いい仕事しよるから
なんじゃ今日は
遊びに来たのかい?
あ いぇ
ちょっとご挨拶に
寄らせていただいた
だけで…


すぐ
お暇…
何じゃ
折角来たのに
泊まっていきなさい
ミ
はっ
そっ
そうですよ!!
このまま
帰っていただくなんて
とんでもないです!!
部屋なら
腐るほど
ありますから
そんなもん
電話でキャンセル
すりゃよかろーが!
今日の宿も
決まってて…
いや……
じ
じ
じ
遠慮なんぞ
せんでええ
から!!
さぁさぁ
どーぞ
どーぞ!!
いや
遠慮とかじゃ…
ちょっと
待っ…


広いねぇ…
お風呂とトイレは
こっちの離れに
ありますから
好きに
使っちゃって
下さいね


明日 朝ご飯
できたら
呼びに来ますから
お祖父さんて


手紙だとどんなに
恐ろしい人かと
思ってたけど
いい人じゃない
身内に厳しい
タイプなので
それに久々に
お客様が来て
嬉しいんですね
でも
片山さんに会えて


俺の方がもっと嬉しいですよ
正直心が折れそうだったんですけど
片山さんに会えたからまだ頑張れそうです
…単純


…お祖父さんの家だけど
大丈夫です
離れだから分かりません


…はっ
う
っ
あっ
もう
いいかな…
ぐちっ
…っ


そのままで
いいから
は
はぁ
片山さん


俺が欲しいって
思ってくれてるのかな
俺に会えなかった事を 少しでも


寂しいって
思っててくれたら
嬉しい
あっ
目が
覚めました？
……
片山さん？
しまった…
人様の家の
布団で…
ああ…


そんなの
全然大丈夫!!
家政夫
させられて
だって俺が家事
やってるんですから
いくらでも
ゴマかせますって!
かえって
ラッキー!
ね
それより明日
どうします?
この辺案内
しますよ
祖父が明日
休みくれたんです
お客様の
おもてなしを
優先しろって!!
だから…
朝発つよ
へ?
来た時言ったでしょ
元々旅行に来たんであって
ついでに寄っただけだって
ここに泊まる
予定なんて
なかったしさ…
予定が
狂っちゃったよ
そ そんな
折角会えたのに
それに
一人旅なんて
絶対寂しい
ですって!!


……
確かに
ぱっ
じゃあ
お祖父さん
誘おうかな
は？
夕食の席で
今後の行き先
話したら
「ワシも行きたーい」って
仰ってたしね
父の思い出話
なんかもしたいし
えーと
電車の時間は…
ゴソ…
祖父とって
…ちょ…待
しかも携帯
持ってるし!!!
えーと
乗換案内
END



描きおろし

ある日のふたり。





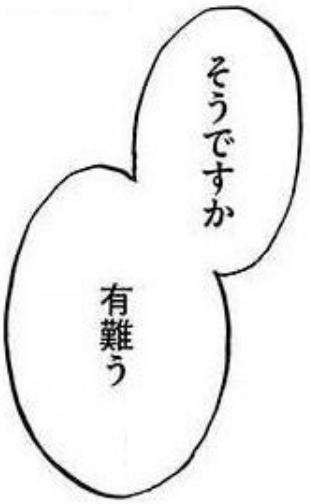
片山（かたやま）さんが
俺のバイト先へ
やってきた

というより
「奢るから」と言って
俺が半ば無理やり
招待したのだ


お待たせしました～
ねぎ〇と豆腐サラダと…
そーいえば片山さんて何か好物とかあるんですか？
ん？
ハンバーグとカレー
いただきます
どうしたの
いえときめきのあまり持病の腸捻転が…
死ぬでしょそれ
ゴゆっくり…
フラ…
フラ…
……
ギグ…
すみません


はい
高宮君…
あ
僕は知り合い
なんですが
彼は今日
何時まで
仕事なんですか？
高宮ですかぁ
え～っと…
今日は
十時までですね！


片山さん
空いてるお皿
下げますね


そうですか
有難う


わぁ
綺麗に食べて
くれたんですね！
ゴチそうさま
ガチャン
そろそろ
帰るよ
はい…


あっ
俺今日
十時で上がり
なんですよ
ふぅん
そうなんだ
だからあの
一緒に
帰りませんか
よかったら…
……
待つのは
十時五分まで
!!
はいっ
外にいるから
すぐに行きます
はいっ
?
「そうなんだ」
なんて
自分で時間
聞いてたのに
END

仕立て屋と坊ちゃん
(GUSH 2014年1月号
GUSH pit 変態カレシ
GUSH 2014年6月号
GUSH pêche vol.30 特集：透け乳・透け尻
GUSH 2014年12月号
GUSH pit 中出し)
ある日のふたり。
(描きおろし)

◆大島かもめ先生へのご感想・ファンレターは
〒102-8405東京都千代田区一番町29-6 (株)海王社 GUSH編集部気付でお送り下さい。

仕立て屋と坊ちゃん

2015年3月20日初版第一刷発行

著　者　大島(おおしま)かもめ
©KAMOME OSHIMA 2015
発行人　角谷　治
発行所　株式会社 海王社
〒102-8405　東京都千代田区一番町29-6
www.kaiohsha.com
印　刷　図書印刷株式会社
ISBN978-4-7964-0696-3

本書の無断転載・複写・上演・放送を禁じます。また、本書のコピー、スキャン、
デジタル化等の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。
本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や
家庭内での利用であっても、著作権法上認められておりません。
本書の掲載作品はすべてフィクションです。実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。

KAIOHSHA COMICS

Printed in Japan